

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	バンダキッズ神戸 放課後等デイサービス				
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	16名	
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 30日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名	
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日				

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・充実したレクリエーション活動と、多彩なイベント活動を提供	・子どもの興味を引き出す事 ・成功体験を積める工夫 ・集団活動での協力や交流を促進 ・子ども主体の活動 ・特別な配慮が必要な子への対応	・活動を振り返って職員や子どもたちから、フィードバックを集め、次回の改善点を明確にする。
2	・個別支援計画書の質	・個別支援計画書に基づいた、お子さまの特性・成長に合わせた療育支援	・お子さまの成長や変化に合わせて、目標や支援方法を柔軟に見直す。
3	・言語聴覚士が行う、専門的支援	・言語療法士による個別療育を実施し、効果的な支援を行っている。	・同じ系列の児童支援事業所と放課後デイに配属しているOT、STと連携しスキルアップを図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会。	・感染予防から交流会・地域イベントへの参加を見送ってきた。	・今後は同じ系列の放課後等デイサービスとの交流や、地域イベントに積極的に参加を図る。
2			
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	パンダキッズ神戸 放課後等デイサービス		公表日	2025年2月25日		回収数	16	
			利用児童数	2025/2/1 23名				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	10	5		1	「受入れ人数と空間のバランスは取れていると思います。」のご意見であった。	受入れ人数と空間のバランスが取れているとお言葉は頂きましたが、視覚、聴覚からの刺激を避ける場所の確保に努めます。	
	2	11	1		4		今後も適切な人員配置に心がけて、安心してお子様が過ごせる環境作りにも努めます。	
	3	10	1	1	4	「宿題をする時に可能であれば、仕切りを作って集中して取り組める様にしたい。」のご意見であった。	限られたスペースを使いながら、視覚・聴覚を周りから刺激を避けて、集中が出来る環境作りにも努めます。	
	4	14			2		感染予防にも気をつけて、清潔で心地よい環境作りにも努めます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	11	2		3	「専門性のある支援が受けれている」「わからない」とのご意見であった。	今後もお子様一人ひとりの特性を考えた、専門的な支援が出来る様に努めます。	
	6	14	1		1		どちらともいえない・わからない・といったご意見を頂いたため、支援内容を十分に説明を行い、支援プログラムの提供に努めます。	
	7	15	1				ご家族様に分かりやすい計画を心がけて、お子さまと保護者様からのニーズや課題に沿った計画を作成する事に努めます。	
	8	15			1	「設定はされていると思います。」のご意見であった。	5領域に基づいた支援プログラムを分かりやすく、具体的な支援内容で作成に努めます。	
	9	15				1		計画書に沿った支援を行いながら、必要な支援があった場合は、保護者様に説明を行い追加をする様に努めます。
	10	15	1				「土曜日の課題活動は工夫されていると思います。」のご意見であった。	創意工夫を行い、活動プログラムを実行する様に努めます。
	11	1	2	6	7	「実際にあるかも知れないが、わからない」とのご意見であった。	現在ほとんど交流が出来ていませんが、交流の場を作っていく様に努めます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	16				「対面での丁寧な説明がありました」とのご意見であった。	保護者様のご理解を得られる様に、今後も努めます。	
	13	13	2		1		保護者様のご理解を得られる様に、今後も努めます。	
	14	7	5	1	3	「この様な機会を増やして欲しい。」のご意見であった。	知識・技術の向上を図り、ご家族様に提案が出来る様に努めて参ります。講習・情報などがあれば、お知らせ出来る様に努めます。	
	15	15			1	「毎回、パンダさんの様子や体調の変化等お話しして頂いております。ありがとうございます。」のご意見であった。	お子さまの変化や成長がみられる事など、職員が感じる事は保護者様にお伝えして情報共有していく様に努めます。	
	16	14			2		送迎時や電話・メールなどで困り事などご相談があった場合は、すぐにお答え出来る様に今後も努めます。	
	17	14	1		1		お子さま一人ひとりの特性・成長に合わせた支援が、チーム全体で行える様に、今後も努めます。	
	18	1	4	3	8	「保護者会はPTAの様に集まりになりそうで、必要は感じない」とのご意見であった。	保護者同士の交流の機会がほしいという意見があれば必要ないという意見もあるので、今後はご意見をお聞きしながら開催も検討する様に努めて参ります。	
	19	12	1		3		送迎時や電話・メールでのご相談を受けた場合はすぐにお答えをしておりますが、保護者様に対してそのような場があることについて周知・説明をする様に努めて参ります。	
	20	14	1		1	「毎日、パンダさんでの出来事をお話して頂き、家で困った事を相談させて頂いています。」のご意見であった。	送迎時や電話・メールを有効活用しながら、保護者様との意思疎通や情報伝達に努めます。	
	21	15			1		個人情報に注意しながら、日々の活動や通所時のお子さまの様子を見て楽しんで頂けるように工夫して発信に努めます。	
22	16					個人情報は必要最低限で済む様に、細心の注意を図り、取り扱う様に努めます。		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		1	法令で定められた訓練を実施しております。保護者様にも周知・説明に努めます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			2	法令で定められた避難訓練を実施しております。保護者様にも周知・説明に努めます。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		2	法令で定められた避難訓練・訓練等を実施しております。保護者様にも周知・説明に努めます。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		2	事故等が発生した場合は、適切な対応・連絡・状況説明を行っております。保護者様に安心して頂ける様に、今後も努めます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16				「バンダキッズさんに通うのを毎日楽しみしているようです。」とのご意見であった。	今後も、保護者様に安心して頂ける様に努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16				「特に土曜日の行事に参加するのを楽しみにしています」とのご意見であった。	今後も、お子さまに楽しみに通所を頂ける様に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	3			「バンダキッズさんで色々出来る事が増えて来ました。ありがとうございます。」とのご意見であった。	お子さま・保護者様から満足出来る支援に努めます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	バンダキッズ神戸 放課後等デイサービス		公表日		2025年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		言語聴覚士が専門的支援が行える様に、仕切りとテーブルで半固執を作っています	限られたスペースで、創意工夫しながら支援をする環境作りを努めて参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		学校へのお迎えがありますが、適切な配置を心掛けています。	今後も利用定員と職員の配置を遵守に努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動内容に応じてパーテーションで仕切り、環境的配置を行っています。	限られた空間を有効に活用しておりますがご迷惑をおかけしている部分がございます。大変申し訳ございません。今後も配慮に努めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日、消毒・清掃を行い快適空間に努めております。	今後も清潔で心地よい生活空間に努めて参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じてパーテーションで仕切る等は行っています。	限られた空間を有効に活用しておりますがご迷惑をおかけしている部分がございます。大変申し訳ございません。今後も配慮に努めて参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		月に1回の各事業所の代表会議等で話し合いをもつようにしている。	チームで話し合いを続けて、今後も努めて参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		随時必要な時に職員でミーティングを行っている。	保護者様から頂いた意向を把握し、業務改善に努めて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援会議以外の時でも気が付く事があれば職員で話し合う機会を設けている。	職員の意見や感じている事を汲み取り、業務改善に努めて参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	地域イベントへの積極的な参加や他の福祉施設との交流促進が出来る様に取り組みます。	外部評価を行い業務改善に努めて参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		事業所内での研修のほか、外部での研修があれば通知している。	法人内の研修は行っていますが、法人外の研修を受ける機会が増える様に、努めて参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		職員で話し合い月ごとに決めている。	事前に職員全員でリハーサルを行っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		それぞれの児童に対してモニタリング、アセスメントを行い、保護者のニーズも取り入れた計画書になるようにしている。	お子さまの成長・特性を基にニーズや課題を分析して個別支援計画書の作成に努めて参ります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個々の児童に対して職員全体の意見を聞いて作成している。	各職員の知識、技量に差が出ない様に努めています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員と個別支援計画書に沿った支援を話し合い、療育目標を毎日作成して、職員と共有しています。	支援に関する重要な点は随時確認しながら支援している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		特定の課題や問題行動に焦点を当てて評価しています。	子どもの得意なスキルや行動・支援が必要な場面や課題・環境や人間関係の影響・これらに基づいて、支援計画や目標設定を行う様にしています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・日常生活スキル ・社会性の向上 ・自己管理能力 ・興味関心の拡大を意識しながら取り組んでいます。	各項目ごとに支援計画を立てています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		一人ひとりの個別支援計画に基づいて、活動を通じて目指す目標をチームで立案しています。	事前にシミュレーションを行い、改善して活動の支援に取り組んでいる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		プログラムのテーマ設定・季節のイベントを活かし、活動の種類をバランスよく組み合わせる様にしています。	各児童がやり終えた後、満足感、充実感が得られるような取り組みを考えている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		コミュニケーションや、自己の気持ちのコントロールの支援も集団、個別それぞれに合わせて行っている。	自己のコントロールが必要な時に落ち着いて過ごせる場所の確保がスペース的に限られています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援にあたる前には、ご利用されるお子さまの療育目標を確認して共有をしています。	支援前に全員で行っている。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎で一緒になる事が難しい為に、翌日に振り返りを行う様にしています。	帰りの送りから帰ってくると時間があまりない事が多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用者の毎日の日報は当日、もしくは翌日の出勤後に行っている。	記録の徹底と支援・改善につなげる様に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個々の児童に対して職員全体の意見を聞いて作成している。	基本的に6か月に1度の見直しをしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		バランスよく組み合わせ、子どもたちの多面的な成長を支援しています。	地域交流がなかなか実施できていない。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定が苦手な、お子さまに選択肢から自分で選ぶ事から始めてもらっています。	選択肢を具体的に示すために、写真や絵カードを使っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所の担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しております。	職員が参加するには、営業時間に開催される事が多く、管理者の参加になります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校とは密に連絡して、情報の共有に努めています。	相談支援専門員を中心に情報共有や調整をしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		ご家族・学校と情報共有に努めています。	学校からの下校時刻の確認は、毎月確認しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所からの直接、情報の共有を受けております。	保育園等はほとんど関連できていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象者なし。	対象者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		積極的な連携は取れていません。	空き情報の連絡のみ対応です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園等の外出で挨拶を交わしています。	今後は、放課後児童クラブ・地域のお子さんとの交流が持てる様に努めて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加はした事はありますが、積極的には参加していません。	機会があれば参加を考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お帰りの際に、保護者様に今日の事や何か変化を感じた事・成長を感じた事は話して、情報の共有に努めています。	送迎時はゆっくりとお話ができない事もあります。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族へ支援の仕方のご提案をしたり、研修のご案内をさせていただいている。	児童の特性によって、すべての保護者に該当するわけではないので、ご案内できていないご家庭もあります。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、及び変更時にはお伝えして、同意書を頂いている。	ご契約時及び変更・更新があり次第、随時ご説明をさせて頂いております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談、課題整理表でのやり取り、送迎時などで確認している。	面談や見学のご希望は随時受け入れているが、実施件数を増やしたいと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		直接ご説明できない時は、電話やメール、文書などお伝えしてご不明な点があれば、ご連絡いただくようにお伝えしている。	ご家庭の就労状況により、文書や電話でのお伝えになる事がある。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族様からのご要望には、適切に対応しております。	送迎時だけでは時間が少ないので、できるだけ面談など時間を取ってお話させて頂ける機会を作っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会はしていません。	現在、保護者会は行っていません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決には迅速かつ適切に、対応をさせて頂いております。	事の大きさにかかわらず、迅速に対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的な会報やInstagramに活動内容を掲載しております。	定期的な通信の発行を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		Instagramの写真的掲載は各保護者の方から同意書を頂いている。	重要書類は、鍵付きキャビネットに保管する等の注意をはらっております。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉でのコミュニケーションに不安がある利用者に対して簡単なジェスチャーや絵カードを使うなど工夫している。	お子さんの障害特性に応じて、コミュニケーション方法を個別に工夫しています。電話やメール、連絡帳などを通じて、保護者様と定期的に連絡をとっています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		同じマンションの事業所の方と挨拶は交わしています。	地域住民との交流を積極的に出来ていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時マニュアル等を確認して、職員と緊急時に迅速に対応できるよう努めています。	職員へは研修として周知できているが、保護者の方へはすべての内容をお伝え出来ていません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地震、火災、防犯、交通安全についての訓練は毎年おこなっている。	年2回、お子さまと一緒に、避難経路・避難場所を確認しながら、訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前に服薬がある場合や疾患の確認と対応をお伺いしております。	情報共有に努めています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーの有無に関しては、職員間で共有して調理実習等であっても、アレルギー反応が起きない様に細心の注意を払っています。	対象者は1名おられます。食物アレルギーの食品に触れない様にしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の確認、研修・訓練を行っています。	職員全員で研修、訓練を行っている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全対策に関してのマニュアルを作成して、事業所の目につく所に置いて、ご家族にも書面で配布している。	ご家族への連携方法は確立しているが、詳しい取組内容の周知が必要です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所で共有しながら、再発の防止を話し合っており、再発防止に努めています。	案件があった場合は、原因を探り、対策を迅速に立てて共有するようにしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に数回研修を行い社内でも委員会を開いている。	虐待防止研修・委員会も行っていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		年に数回研修を行い社内でも委員会を開いている。	身体拘束適正化委員会・研修を行っています。	